

公 共

- 1 近代・現代の思想に関連する以下の各問に答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

問1 ベーコンの思想に関する以下の記述の中で、誤っているものを選びなさい。

- ① 学問的な手立てとして、観察や実験によって得られた事実を分析し、それらに共通する一般法則を見つけ出すという帰納法を提唱した。
- ② 種族のイドラとは、人間の本性に根差し、人間という種族に共通する感覚的なイドラのことである。
- ③ 劇場のイドラとは、言葉の不適切な使用から生じるイドラのことである。
- ④ 洞窟のイドラとは、個々人の性格や環境などから生じるイドラのことである。

問2 デカルトの思想に関する以下の記述の中で、誤っているものを選びなさい。

- ① 理性による推理を通じて確実な真理に至るために、あらゆるものを疑い、少しでも疑わしいものは排除するという方法をとった。
- ② 疑いようのない明確な法則・原理から、論理的な推理の積み重ねを経て、個別の判断や結論に至るという演繹法を唱えた。
- ③ 精神と物体はそれぞれ独立した実体であり、思惟と延長をそれぞれの属性とする心身二元論を説いた。
- ④ 真偽を判断するための能力である良識（理性）を数多く持つことによって、人間は真理に到達できると考えた。

問3 次の文の空欄に入る語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

カントは、人間は経験によるものではなく、 A に基づく B に従うべきであると考え、自ら B に従うことを C と名付けた。さらに、カントは C の内に人間の尊厳を見出し、 A ある自律的な存在としての人間を D と呼んだ。

- ① A：絶対精神 B：道徳法則 C：人格 D：現存在
- ② A：理性 B：道徳法則 C：意志の自律 D：人格
- ③ A：絶対精神 B：運命愛 C：永遠回帰 D：超人
- ④ A：理性 B：自由意志 C：意志の自律 D：実存

問4 カントの思想に関する以下の記述の中で、誤っているものを選びなさい。

- ① 自然には自然法則があるように、人間にも普遍的な法則があるとし、その法則を道徳法則と呼び、悟性から命じられるものであると考えた。
- ② 「感謝されたいのならば人に優しくせよ」などといった条件付きの命令のことを仮言命法と呼び、決して道徳の原理にはなりえないとした。
- ③ 定言命法とは「人に優しくせよ」などといった無条件的な命令のことであり、道徳性が認められるのは、定言命法に従った行為のみであるとした。
- ④ 人間として為すべき義務をまさに義務として実践する意志を善意志と呼び、無条件に善いものと言えるのはこれのみであると考えた。

問5 ベンサム思想に関する以下の記述の中で、最も適当なものを選びなさい。

- ① 快楽を幸福とみなし、できるだけ多くの人々にできるだけ大きな快楽をもたらすことが最善の行為であると考えた。
- ② 快楽を物質的なものと精神的なものに分類し、精神的快楽は物質的快楽よりも質的に優れているとした。
- ③ 「最大多数の最大幸福」という考えのもと、サンクションと呼ばれる快楽の算出基準を考案し、快楽の量が優っているものを善とした。
- ④ 「満足な愚か者であるよりは、不満足なソクラテスである方がよい」と主張し、人間の精神的快楽を量的に計算することだけではできないと考えた。

問6 国学について述べた文AとBとの正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。

- A 賀茂真淵は、古代の日本人はもののあはれという気風を持っていたと評価し、これに対応する高く直き心を人間精神の理想とした。
- B 本居宣長は、儒教や仏教などの漢意を否定し、日本古来の惟神の道とそこに存する真心に従って生きていくべきだと説いた。

- ① A—正 B—正
- ② A—正 B—誤
- ③ A—誤 B—正
- ④ A—誤 B—誤

問7 近代日本の思想家とその思想内容に関する組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- ① 福沢諭吉：天賦人權論・征韓論・独立自主の精神
- ② 夏目漱石：内的開花・外的開花・自己本位
- ③ 内村鑑三：脱亜入欧・無教会主義・2つのJ
- ④ 西田幾多郎：絶対無・純粹経験・間柄的存在

問 8 プラグマティズムについて述べた文 A と B との正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。

A プラグマティズムの創始者であるパースは、概念の意味は行動の効果であり、抽象的な思考によってではなく、行動を通じて明らかになるものであると考えた。

B プラグマティズムを社会改革の実践思想として再構築したジェームズは、知性を問題解決のための道具にとらえ、絶えず現実の中で進歩させていく必要性を説いた。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① A—正 B—正 | ② A—正 B—誤 |
| ③ A—誤 B—正 | ④ A—誤 B—誤 |

問 9 次の文の空欄に入る語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

ロールズは、功利主義による格差や不平等・不公正などの課題を克服するため、 を再構成した を提唱し、その第一原理として を、第二原理として と公正な機会均等の原理とを挙げた。

- | | |
|------------|------------|
| ① A：総量功利主義 | B：公正としての正義 |
| C：格差の原理 | D：自由の原理 |
| ② A：社会契約論 | B：平均功利主義 |
| C：公平な競争の原理 | D：自由の原理 |
| ③ A：総量功利主義 | B：平均功利主義 |
| C：公正な競争の原理 | D：格差の原理 |
| ④ A：社会契約論 | B：公正としての正義 |
| C：平等な自由の原理 | D：格差の原理 |

問 10 青年期に関する以下の記述の中で、最も適切なものを選びなさい。

- ① ハヴィガーストは、人生を 8 つの発達段階を持つライフサイクルに区分し、青年期の発達課題として、アイデンティティの確立を挙げている。
- ② ルソーは、著書『人間不平等起源論』の中で、青年期を「第二の誕生」と呼び、自我の目覚めが見られることを指摘した。
- ③ エリクソンは、青年期を子どもと大人の間存在的存在者として位置付け、その状態にある者をマージナルマン（境界人、周辺人）と呼んだ。
- ④ 青年期を、子どもが親への依存から精神的に自立しようとする時期としてとらえたホリングワースは、このことを心理的離乳と呼んだ。

- 2 基本的人権に関連する以下の各問に答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

問 11 基本的人権に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 基本的人権は、法律によっても、奪われることがない。
- ② 基本的人権は、人として生まれたがゆえに、当然に認められるものである。
- ③ 基本的人権といえども、自由に行使することができるわけではない。
- ④ 基本的人権は、その内容が不変で、変わるものではない。

問 12 幸福追求権に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 幸福追求権は、すべての日本国民に保障される。
- ② 幸福追求権は、さまざまなものがあり、生命への権利もその1つである。
- ③ 幸福追求権には、さまざまなものがあり、プライバシーの権利もその1つである。
- ④ 幸福追求権には、さまざまなものがあるが、喫煙の自由は保障されない。

問 13 法の下での平等に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① すべての国民は、人種、信条により差別されない。
- ② すべての国民は、性別、社会的身分により差別されない。
- ③ すべての国民は、門地により差別されない。
- ④ すべての国民は、人種、信条、性別、社会的身分、門地のほかは差別されうる。

問 14 精神的自由に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 何人も、いかなる奴隷的拘束を受けることがない。
- ② 国民は、思想および良心が侵されることがない。
- ③ 何人も、信仰が侵されることがない。
- ④ 国民は、学問の自由が侵されない。

問 15 経済的自由に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 何人も、自由に職業を選択することができる。
- ② 何人も、自由に居住し、移転することができる。
- ③ 何人も、自由に外国に移住し、国籍を離脱することができる。
- ④ 何人も、公共の福祉によっても、私有財産を奪われない。

問 16 人身の自由に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 何人も、いかなる場合にも、令状がなければ逮捕されない。
- ② 何人も、拷問および残虐な刑罰を絶対に受けない。
- ③ 刑事被告人は、いかなる場合にも、資格を有する弁護人を依頼することができる。
- ④ 何人も、自己に不利益な供述を強要されない。

問 17 受益権に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 何人も、法律の制定などについて平穩に請願する権利を有し、そのような請願をしたためにいかなる差別待遇も受けない。
- ② 何人も、公務員の不法行為により損害を受けたときは、国または公共団体にその賠償を求めることができない。
- ③ 何人も、裁判所において裁判を受ける権利を奪われない。
- ④ 何人も、抑留または拘禁された後、無罪の裁判を受けたときは、法律の定めるところにより、国にその補償を求めることができる。

問 18 参政権に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 選挙においては、成年者による普通選挙が保障される。
- ② 国会議員およびその選挙人の資格は、人種、信条、性別、社会的身分、門地、教育、財産または収入によって差別されない。
- ③ 選挙においては、投票の秘密が侵されてはならない。
- ④ 選挙人は、その投票において、公的にまたは私的に責任を問われることがある。

問 19 社会権に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① 国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- ② 国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
- ③ 国民は勤労の権利を有し、児童といえども、成人と同様に勤労の権利を有する。
- ④ 勤労者は、団結する権利および団体交渉その他の団体行動をする権利が保障される。

問 20 憲法が定める「国民の義務」に関する記述のうち、誤っているものを選びなさい。

- ① すべての国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。
- ② すべての国民は、法律の定めるところにより、勤労の義務を負う。
- ③ すべての国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。
- ④ すべての国民は、法律の定めがないので、兵役の義務を負わない。

- 3 国民所得，景気循環および日本経済に関連する以下の各問に答えなさい。
解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

問 21 次の文の空欄に入る語句の組合せとして，最も適当なものを選びなさい。

国民所得の三面等価の原則とは生産国民所得と 国民所得と
 国民所得は金額上，等しくなることをいう。

- ① a：消費 b：支出
- ② a：消費 b：投資
- ③ a：分配 b：消費
- ④ a：分配 b：支出

問 22 物価変動に関連する語句の説明として，誤っているものを選びなさい。

- ① デフレーション — 物価の持続的な下落
- ② インフレーション — 物価の持続的な上昇
- ③ スタグフレーション — 景気停滞下のデフレ
- ④ インフレターゲット — 中央政府による物価上昇率の目標設定

問 23 景気循環の波の長さとして，誤っているものを選びなさい。

- ① キチンの波 — 1～2年
- ② ジュグラーの波 — 8～10年
- ③ クズネッツの波 — 15～25年
- ④ コンドラチェフの波 — 50～60年

問 24 問 23 の景気循環の波は何を原因として考案されたか，正しいものを選びなさい。

- ① キチンの波 — 設備投資
- ② ジュグラーの波 — 建設投資
- ③ クズネッツの波 — 在庫投資
- ④ コンドラチェフの波 — 技術革新

問 25 次の文の空欄に入る語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

GDP は国内で生まれた a の合計であり、国内の総生産額から b を差し引いた額として計算される。

- ① a：付加価値 b：中間生産物
- ② a：消費と投資 b：付加価値
- ③ a：消費と貯蓄 b：中間生産物
- ④ a：中間生産物 b：付加価値

問 26 現在の日本経済の産業所得が多いほうから順に正しく並んでいるものを選びなさい。

- ① 第1次産業 — 第2次産業 — 第3次産業
- ② 第2次産業 — 第3次産業 — 第1次産業
- ③ 第3次産業 — 第1次産業 — 第2次産業
- ④ 第3次産業 — 第2次産業 — 第1次産業

問 27 第2次世界大戦後の日本において採られた産業政策として傾斜生産方式が有名だが、その対象となった産業の組合せとして正しいものを選びなさい。

- ① 繊維産業と造船業 ② 石炭産業と鉄鋼業
- ③ 石油産業と造船業 ④ 石油産業と自動車産業

問 28 第2次世界大戦後の日本における出来事として、誤っているものを選びなさい。

- ① 戦後のインフレ対策として経済安定9原則と、ドッジ・ラインが実施された。
- ② インフレ収束後の安定恐慌は、朝鮮戦争による特需によって乗り越えた。
- ③ この時期に実施された税制改革は、直接税を中心とするシャウプ勧告の影響が大きかった。
- ④ この時期の財政は不均衡状態にあり、経済はやや好況に転じていた。

問 29 1960 年代の日本における高度経済成長の要因として、誤っているものを選びなさい。

- ① 国民の貯蓄率が高く、間接金融の形で企業の設備投資を支えた。
- ② アメリカなどから最新技術が導入された。
- ③ 国内に豊富な労働力が存在した。
- ④ 1 ドル = 308 円の為替レートが、輸出の追い風となった。

問 30 日本の農業問題について述べた文 A と B との正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。

A 2021 年現在の日本のカロリーベースでみた食料総合自給率は、30%を下回る。

B 米（コメ）市場の全面開放（輸入の関税化）は、1995 年に始まった。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① A—正 B—正 | ② A—正 B—誤 |
| ③ A—誤 B—正 | ④ A—誤 B—誤 |